

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院法学研究科内 『法学政治学論究』 刊行会
Publication year	2020
Jtitle	法學政治學論究：法律・政治・社会 (Hogaku seijigaku ronkyu : Journal of law and political studies). Vol.124, (2020. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10086101-20200315--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目 次

ブリテンの国制変容とスコティッシュ・ナショナリズムのゆくえ	高橋 誠	1
フランス著作権法における撤回権 —人格権と契約の拘束力に関する分析のために—	石尾 智久	33
フォークランド戦争をめぐるイギリス外交と欧州政治協力 —ECメンバーシップの正当化の試みに着目して—	粕谷 真司	67
一九六〇年代における韓国の集団安全保障体制構想と日米韓関係	金 汝 姪	101
投資関連協定における公正かつ衡平な待遇にかかる一考察	齊藤 安希子	135
法的判断への人工知能の応用と、法学にとってのその意義	西村 友海	165
競争法上の破綻会社の抗弁とその正当化根拠に対する一考察	野崎 光 駿	187
英国における労働法の人的適用範囲の拡大に関する法的考察 —EmployeeとWorkerの比較検討に基づいて—	長尾 貴子	217
ジョルジョ・アガンベンの高度資本主義批判	長島 皓平	251
明治・大正期における「家産制度」論 —臨時法制審議会の議論を中心に—	白石 大輝	281
フランスにおける相互依存的契約論の新たな展開 —契約の連鎖的消滅の場面を中心に—	渡邊 貴	315